

## 目標達成計画

作成日: 2025年4月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	一人一人の思いの把握。	入居者それぞれの思いの把握を実践する。思いが伝えることが難しい入居者に対して、動きや表情などで訴えを感じ取れるような対応を全職員で目指し共有していく。	会議での共有事項の把握、取り組みを決め一日一日意識して取り組むことで気づきを得る。対応方法や動き、表情でどのような訴えがあるのか記録し職員間で共有していく。傾聴、観察力をつけてその人を尊重する事を意識していく。	6ヶ月
2	36	声掛けの工夫。	一辺倒の声掛けにならないよう入居者に接して、声掛けを工夫することによって入居者との信頼関係を構築していく。	入居者の声や思いを大切にして、状態によって声掛けの工夫を行い穏やかに過ごしていただく。不適切な声掛けを感じたときはそれぞれ指摘できるような職場環境を作り上げていく。	6ヶ月
3	52	安心して過ごせる共有空間の創出。	共有空間においては入居者が居心地が良いと思えるような場所を作り出す。	入居者同士のコミュニケーションも大切にしてレクリエーション活動を行う。個人の趣味など行えるような空間づくりを行う。	6ヶ月
4	4	運営推進会議の実施。	年6回の運営会議の実施。	運営推進会議を実施して参加者も増やした皆さんの助言等をいただき、施設のレベルアップを図る。	12ヶ月
5	33	終末期における対応。	終末期に向けた対応についての方針を策定する。	入居者ご家族様の思いを聞き取り、終末期における対応を考える。医療機関や訪問看護との連携、役割を精査していく。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。